

区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（日本の水産資源利用）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History (Utilization of the fishery resources in Japan)						
担当教官名	亀田和彦	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	火曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>日本における海洋生物資源利用を考えるには、「海」に関わることで形作られてきた人々の暮らし、社会、経済活動のありかただけでなく、資源と共存する仕組みを見る必要がある。この講義では、海と私たちの社会との関わりかた、海の生き物を経済利用するということ、「資源管理」という考え方の3点について概説する。</p>							
テキスト、教材等							
テキストは指定しない。参考文献等は、適宜、紹介する。							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	定期試験、レポート、学習態度、出席状況等を総合的に判断して評価する。						
授業計画							
<p>最初に、この授業に必要なオリエンテーションを行う。授業の要点は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．海と私たちの社会 <ul style="list-style-type: none"> ・航海（植民地経営、通商） ・漁業（食料確保、地先水面管理） ・地先管理と海洋制度 2．海の生き物を利用すること <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源ということ ・本来的に必要な「バランス」 3．資源管理 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経済活動と再生可能資源 ・経済活動と人類社会の繁栄 ・減らさない努力、増やす努力、その責任 ・地球規模の課題 <p>最後に、生物資源と人類の共存についてまとめて考えてみる。</p> <p>（予習・復習に関する指示） 予習・復習に資するために、授業内容を関係ある書物に触れる機会を作る。そのために、毎月1回の読書レポートの提出を求める（詳細は授業中に指示する）。</p>							